

ふくろい 市議会だより



水面に青空が映る千鳥ヶ谷池

県水辺百選にも選ばれた千鳥ヶ谷池(村松)の澄んだ水面に、青空が鮮やかに映しだされていました。池の周囲は遊歩道が整備され、小鳥のさえずりなどを楽しみながら散策ができ、ウォーキング客にも人気のスポットです。

- 9月定例会の概要 ————— 2ページ
- 市政に対する一般質問 ——— 4ページ
- 常任委員会レポート ————— 10ページ

NO.28

平成22年
10月15日

◎9月定例会

一般会計など12会計の すべての決算を認定

市議会9月定例会を、9月1日から29日までの29日間の会期で開催しました。

今定例会では、平成22年度一般会計ほか3会計の補正予算をはじめ、平成21年度一般・特別・企業の各会計決算認定、浅羽郷土資料館条例の一部改正など20議案と2件の報告、議員から提出された1議案が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決・認定しました。

なお、市政に対する一般質問では、12人の議員が市長の見解をたきました。



建設が進む近藤記念館

議決した主な議案

一般会計補正予算

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業のために、9億300万円を増額するものです。これにより、平成22年度予算総額は304億5,500万円となりました。

工場立地奨励補助金……1億8,876万円
市内に工場等を立地し、操業開始することとなった企業に対し、固定資産税相当額の補助金を交付するために増額するものです。(対象 ヤマハ発動機株式会社(2箇所)、南海鋼材株式会社)

緊急雇用創出事業臨時特例対策事業費

……4,536万円

地球温暖化対策実行計画策定事業、職業相談員設置事業、土砂災害危険箇所図作成等事業、教育施設現況調査事業及び特別支援学級等支援員設置事業のための臨時雇賃金を増額するものです。

橋梁点検業務、都市公園台帳作成業務、公園施設安全パトロール事業及び外国人支援事業のための委託料を増額するものです。

条例

《改正》主なもの

袋井市立浅羽郷土資料館条例の一部改正について
浅羽郷土資料館の隣接地に近藤記念館を新設することにあわせて、両施設の一体的な利用を可能とするため、必要な改正を行うものです。

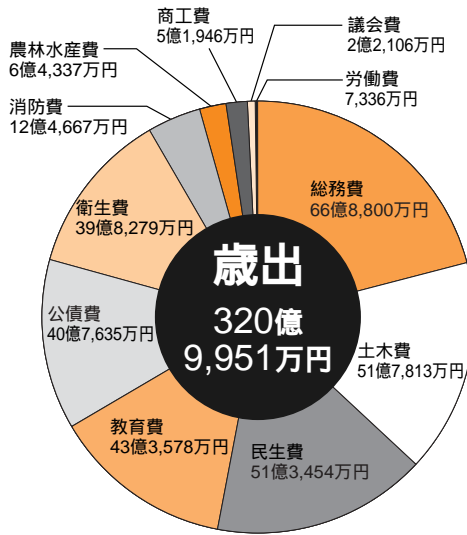
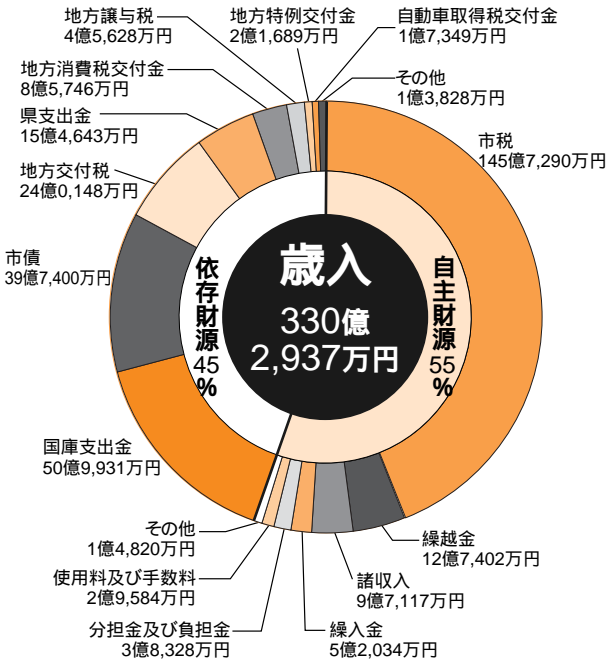
平成21年度各会計別決算状況

一般会計については、332億6,900万円の予算に対して、決算額は歳入が330億2,937万円、歳出が320億9,951万円となりました。決算額の執行率は、予算対比で、歳入が99.3%、歳出は96.5%でした。特別会計及び企業会計については、表のとおりです。

【一般会計】

歳入 予算額... 332億6,900万円
収入済額... 330億2,937万円

歳出 予算額... 332億6,900万円
支出済額... 320億9,951万円



討 論

【特別会計】

特定の事業に使用される予算で、国民健康保険など9会計があります。

会計名	予算額	歳入決算額	歳入執行率 (%)	歳出決算額	歳出執行率 (%)
土地取得	3億0,000万円	1億0,737万円	35.8	1億0,277万円	34.3
国民健康保険	73億9,460万円	72億8,064万円	98.5	71億5,600万円	96.8
老人保険	2,620万円	4,209万円	160.7	588万円	22.4
後期高齢者医療	5億2,060万円	5億1,791万円	99.5	5億1,593万円	99.1
介護保険	42億5,690万円	42億4,124万円	99.6	42億2,178万円	99.2
公共下水道	28億8,350万円	28億6,681万円	99.4	28億1,697万円	97.7
農業集落排水	1,830万円	1,862万円	101.7	1,747万円	95.5
駐車場	8,401万円	8,078万円	96.2	7,518万円	89.5
訪問看護	2,810万円	3,276万円	116.6	2,626万円	93.4

【企業会計】

公共の福祉を目的に企業を経営する、独立採算の会計です。

会 計 名		予算額	決算額
病院事業	収益的	事業収益	55億7,100万円
	収 支	事業費用	59億4,400万円
	資本的	資本的収入	3,000万円
	収 支	資本的支出	3億5,500万円
水道事業	収益的	事業収益	14億7,600万円
	収 支	事業費用	15億5,600万円
	資本的	資本的収入	1億7,500万円
	収 支	資本的支出	8億1,100万円

「平成22年度袋井市一般会計補正予算について」に対して

反対討論(要旨) 日本共産党

1点目として、工場立地奨励金は、補助金を受けながら、わずかな期間で廃業となった例もあり支給が適切でない。2点目として、約9億円の歳入増は、市民にとって必要かつ緊急な施策に回すべきである。3点目として、地域協働運行バスは、自主運行バスとの関連性や地元との協議などにおいて、未知数が多すぎる。以上の理由から反対する。

賛成討論(要旨) 自民公明クラブ

この補正予算は、財政調整基金や減債基金の取り崩しを止め、市内工場への投資助成を行うなど、今後の財政健全化に配慮したものである。また、緊急経済対策や自主運行バスの利便性向上策などは、いずれも市民・地域にとって重要な施策であることから賛成する。

●市長の選挙公約の
取組み状況はどうか

問 現市民病院の利活用
について、保健・医療・介護
サービスの構築をどのよ
うに進めるのか。

答 市民から広く意見を聞く
ため、パブリックコメントを実
施するとともに、意見交換会
も開催する。保健・医療・介護
の分野で、市民に喜んでもら
えるよう、現市民病院を最大
限に活用できるように、25年
度から改修工事に着手してい
く。

問 「農を活かしたまちづく
り」の6事業が、今疲弊して
いる袋井市農業を救えるか。

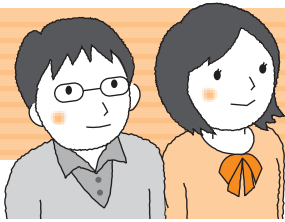
答 「農業振興ビジョン」によ
り、様々な施策を展開してい
く。「人づくり」としての生産
者の育成や「優良農地づくり」
「農産物づくり」を推進する
とともに、新品種のブランド
化を促進するなど、新たな市
場拡大を図る。

問 生活安全条例の制定
のおくれの原因と、制定に
向けての取組みはどうか。

答 防犯まちづくり事業やス
クールガードリーダー、青少年
健全育成会議などの連絡体制
の強化を図るため、袋井市防
犯対策連絡協議会を立ち上げ
た。組織化を優先してきたが、
条例制定の必要性を感じてい
る。来春には（仮称）袋井警察
署が開署の運びとなることか
ら、これを契機に条例制定を
していく。



平成25年度から改修予定の市民病院



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを
めざして

●発達障害児への支援は

問 障害児への支援は充足
されているか。また、早期療
育支援施設は万全か。

答 保護者から指導員の増員
を求める声も寄せられており、
10月から半年間支援員を増員
する予定である。また、さらな
る早期療育支援センターの整
備については、公共施設の利活
用を検討していきたい。

●江ノ端から東同笠まで
の道路延長幅は

問 どのように計画し、い
つ頃までに着手することを
考えているか。また、地元と
の約束はどう理解している
のか。

答 道路財源の大幅な削減に
伴い、事業箇所の選択が求めら
れている。この財源を見極め、
地元との約束等を精査した上
で、整備していきたい。

●悪臭問題の改善に
向けて

問 畜産環境対策協議会は
継続していくのか。また、継
続する場合、今後どのように
環境対策を進めていくのか。

答 協議会では、専門的見地
から意見等をいただき、畜産環
境の改善に取り組んでいる。現
在、事業者の努力により改善の
方向にあるため、今後も協議会
を継続し、効果的な指導を行っ
ていきたい。



工事未着手の江ノ端から東同笠までの道路

◎「コールセンター」設置における助成は

問 「コールセンター」設置の助成制度として、用地費・賃貸料・初期投資等に対する補助金を設ける考えは。

答 急速に進むと考えられる産業構造の転換等を見据え、雇用状況や立地状況も調べた上で考えていきたい。

◎原野谷川左岸堤防の維持管理費は

問 原野谷川左岸堤防（和口橋から諸井橋）道路部分の草刈りと舗装をした場合、概算経費の比較はどうか。

答 道路幅4mで区間延長3.5kmを、年2回草刈りした場合、は約300万円かかる。未舗装部分の区間2.3kmを舗装した場合、は約4,700万円である。

◎鳥羽野排水路に彼岸花の植栽はどうか

問 鳥羽野排水路の景観事業「彼岸花の里作り構想」を考えるがどうか。

答 地域が美化運動の一環として、護岸に彼岸花の植栽をすることは、河川の景観向上とともに、管理上の効果が期待できる。河川管理に支障をきたさない範囲で実施していただければと考える。



景観事業が考えられる鳥羽野排水路

◎国道150号線バイパスの路線決定は

問 国道150号線バイパスの工事が、各所で進められているが、本市は路線決定も行われていない。このままでは本市は取り残されてしまう。事業の進捗率はどの程度か。

答 全体の進捗率は77%であり、また、既に整備が進められている磐田市を含めた中東遠の進捗率は、70%となっている。

問 県は、路線決定については市に投げかけてあるとのことだが、路線はだれがいつまでに決めるのか。

答 県の管理道路であるため、路線は県が決めるものである。なるべく早く決めるよう県に確認し、結論を出していきたい。

◎にぎわい新都心まちづくり事業の推進は

問 国本地区開発は、市の将来を左右する重要な施策である。タイムスケジュールを決めて、早期に着実に事業を推進すべきでは。

答 平成25年までにプロポーザルコンペを行い、5年後の平成30年には、事業を着手していきたい。



整備された国道150号線バイパス(磐田)

◎ふくろい遠州の花火への今後の支援は

問 今後も「ふくろい遠州の花火」の開催に向け、継続支援するのか。

答 市民がより一層誇れる、安心安全な「我がまち自慢の花火大会」となるよう、引き続き支援する。

◎周南中学校にサブグラウンド設置を

問 グラウンドが狭く、複数の部活動で使用する時は危険である。現在整備を進めている(仮称)春岡多目的広場を、サブグラウンドとして使用できないか。

答 現在整備中のこの広場を、サブグラウンドとして使用できるよう、地元関係者と協議していく。

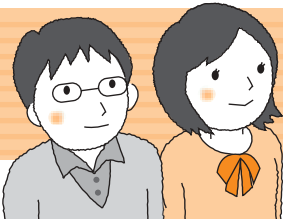
◎一人暮らしの老人等への熱中症の指導は

問 猛暑が続いているが、熱中症対策についてどのように指導しているのか。

答 昨年度から、保健師及び看護師が、一人暮らしで75歳以上の世帯への家庭訪問を実施し、健康状態を把握するとともに、熱中症予防策を個々に説明している。



手狭な周南中学校グラウンド



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎正規職員の削減は問題

問 正規職員の削減と非正規への振りかえは、市民サービスの低下、正規職員の業務過多、非正規職員の生活不安定を招いている。

「行政の効率化」を至上命題とした正規職員の削減でなく、「正規職員が当たり前」という考え方が必要ではないか。

答 限られた財政状況の中で、事務事業を効率的かつ効果的に遂行するために、組織や職員配置の見直しや民間委託の推進などをすすめ、正規・非正規にこだわらず、事務事業に見合うよう適切に職員を任用していく。

問 「職員はコストでなく財産」という考えが大切では

答 個々職員の生活を守ることも、市全体の財政バランスの両方を考慮していく。

◎利用しやすいメモロプラザに

問 浅羽会館が建てかえられメモロプラザになったら、「簡単に使えなくなった」という声を聞く。使用料やその減免に問題はないか。

答 使用料は、受益者負担の原則に基づき、他施設の使用料も考慮し設定している。また、利用件数のうち、約26%の件数で減免を行っている。



5月に開館したメモロプラザ

◎子宮頸がん予防ワクチン接種の助成を

問 検診とワクチン接種を併用すれば予防できる唯一のがん。本市も子宮頸がん予防ワクチン接種費の公費助成をすべきと考えるが。

答 本市としては、国の方針にあわせて、平成23年度予算において、助成を前提にその内容を検討したい。

◎教室の暑さ対策として扇風機の導入を

問 暑さ対策は、猛暑による学習効率の低下、特に低学年児童の健康管理の面からも必須の課題である。今後、扇風機の導入をしていくのか。

答 教室内の室温や風通しの状況について十分調査を行い、小学校1・2年生を対象に扇風機の導入を進めていきたい。

◎「放課後児童クラブ」の拡充を

問 「クラブの学年を拡大して欲しい」と望む声があるがどうか。

答 基準では、対象年齢が概ね小学3年生までである。体の大きさ、遊びの内容の違いなど、異年齢児童と一緒に保育することは難しいことから、本市では、対象の拡大を4年生までとしている。



扇風機が設置されている袋井中学校の教室

◎新病院への公共交通アクセスは

問 新病院へは路線バスや自主運行バスの乗り入れが不可欠と思うが、見通しはあるか。

答 新病院建設事務組合事務局が袋井市・掛川市の調整を行い、運行手段・ルートを検討している。平成25年4月の開院に合わせ、新病院へのアクセスを確保していきたい。

◎「のびのび園庭グリーン事業」の拡充を

問 今年、園庭芝生化に取り組んだ市立幼稚園の3カ所では、順調に進んでいると聞く。私立の幼稚園への取り組みに助成はできないか。

答 私立の幼稚園・保育園の園庭芝生化への助成は、今後検討していきたい。

◎小中学校の社会見学での交通手段は

問 路線バスの撤退、便数の減少などで校外学習が難しくなっている。市のマイクロバスなどを活用できないか。

答 昨年度、市の公用バス2台で61回の利用があった。今後、新たに購入した「ふくろい宣伝隊」のマイクロバスも、各学校に活用を広げていく。



芝生化された若葉幼稚園園庭

◎地域資源の発掘

問 (仮称)大日ほたるの里公園の整備に、大日砂層・大日化石をジオスポット(地質・自然遺産)として生かしたらどうか。

答 現在行っているワークショップでの地域資源活用の議論を踏まえ、公園内への大日化石の展示、案内看板の設置などを検討していきたい。

◎自治会要望制度の改良

問 自治会から市に提出している要望書の様式であるが、市からの回答は「口頭で回答する」となっており、不十分と思われるがどうか。

答 文書での回答は、求められている場合には対応している。要望書の様式に回答欄が無いことについては、追加記載を含め検討していきたい。

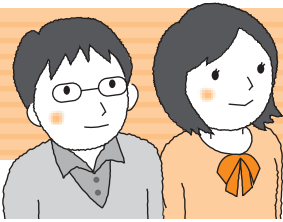
◎公共施設の安全管理はどうか

問 掛川市で公共施設の明かり窓からの転落事故があったが、当市の施設は大丈夫か。

答 当市でも171施設で緊急安全点検を実施した。うち屋上へ上がることができ、かつ、進入防止措置をしていない8施設について、立入禁止看板の設置、ロープなどによる進入防止措置を行った。



大日砂層の化石の標本



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎幼稚園長期休業日の預かり保育を早急に

問 現在、公立幼稚園には、夏休みなどの預かり保育がない。働く母親にとって幼稚園の長期休業日は悩みの種である。早期開園の必要性をどう考えるか。

答 早い段階に公立幼稚園でも実施していきたい。民間幼稚園への委託についても、国の補助金制度を活用する中で、実施の拡大をお願いしていく。

◎介護支援ボランティアの活動範囲拡大は

問 4月から始まったばかりの制度だが、有効性は高く評価されている。今後の展開は。

答 しっかりとした準備を進め、実施していきたい。

◎介護保険ケアプラン自己作成への支援は

問 「自己作成」はあまり知られていないが、自分で行くことの意義は大きいと思うがどうか。

答 本人が望む生活の実現に、より近くなることなどが意義として挙げられる。課題もあるが、パンフレットなどでの周知や、希望される方への説明・手続きなど支援していく。



介護支援ボランティアの活動風景

◎あいさつ運動を
市内各地域へ広げたら

問 家庭や地域で人と会っ
たら、あいさつすることを
提唱してはどうか。

答 多くの学校や公民館で、
あいさつ運動に取り組んでい
ただいている。今後も、学校教
育の中であいさつ運動を継続
し、「心ゆたかな人づくり」を
推進していきたい。

◎ケーブルテレビの
サービスエリア拡大を

問 情報伝達が困難な地
域への新たな手段・方法と
して、ケーブルテレビのサー
ビスエリアの拡大を図る
考えは。

答 現在、市街化の進んだ地
域を中心にサービスが行われ
ている。なるべく早い時期に、
市内全域となるよう事業者に
要望していく。

◎自治会組織のあり方、
高齢化への対応は

問 自治会組織のあり方、
役員の高齢化が問題となっ
ている。その対応はどうか。

答 自治会連合会にも相談し、
市や団体が主催する集会、会
議等の回数の見直し、提出文
書の簡略化や類似交付金の統
合など、自治会活動の負担軽
減に向けた対応を検討し、改
善策を考えていきたい。



小学校で行なわれているあいさつ運動

◎少年・壮年野球の
拠点づくりはどうか

問 広岡河川公園を少年・
壮年野球の拠点として、施
設整備に取り組み考えは
あるか。

答 河川法により、競技スポー
ツの拠点としての整備につい
ては限界がある。引き続き、
市民が気楽に利用できる河川
公園として活用していく。

◎将来に向けた行政経営
へのあり方とは

問 将来に向けた袋井市
の行政経営のあり方を、ど
う考えているのか。

答 市民全体が、総合計画の
推進に一緒に取り組んでいた
だくためにも、市民とのパート
ナーシップが大事であることか
ら、市としてもさらなる研鑽を
深めていく。

◎スポーツ外傷対策への
取り組みが必要

問 スポーツ外傷の未然
防止対策及び発症後の応
急処置について周知を図っ
ているか。

答 スポーツ外傷の防止は、
スポーツを実施する上で必要
不可欠であることから、学校を
はじめ、スポーツ関係団体や指
導者を対象とした講習会を通
じて、その重要性を広く周知
していく。



広岡河川公園東側の野球場

平成21年度一般会計・特別会計・企業会計の各決算をはじめ、平成22年度一般会計・特別会計補正予算や条例の一部改正などの議案を各常任委員会で審査しました。



Q 平成21年度から、B&G海洋センターなどの施設を指定管理に移行している。運営・管理面で改善された点はあるか。

A 利用・開放時間を増やすなど、多様な市民ニーズに対応したことで、利用者数が増えている。またコストも削減されている。今後もコストを下げるだけでなく、市民サービスの向上につながる管理・運営を行うよう指導していく。



袋井B&G海洋センター

建設経済委員会

Q 公共下水道の接続率の低い地区が見られるが原因は何か。また、接続率向上に向けての取り組みはどうか。

A 市内全体の接続率は、袋井処理区と浅羽処理区合わせて、80.8%である。一部接続率の低い地区は、新しく下水道を整備した地区であり、今後は、接続率の向上が見込まれる。下水道接続率を向上させるために、今年度から推進員1名を雇用し、市内の全未接続世帯を対象に、戸別訪問とアンケート調査を実施している。

Q 国本にぎわいまちづくり事業について、今後のスケジュールはどうか。

A 平成22年5月31日に、地権者組織の設立総会が開かれた。今後は、地権者組織と協議し、平成25年度予定のプロポーザルコンペの実施に向けて、27号計画()を踏まえての農業振興施策を中心とした方向を決定していきたい。なお、プロポーザルコンペを実施する際の要件については、地元住民と協議する中で土地利用として取り組む事業内容をはじめ、周辺の道路整備、治水対策、土地の借地・売却などの方向性を定め、実施要綱を固めていきたい。

27号計画:農振法施行規則第4条の4第1項第27号による「地域の農業の振興に関する地方公共団体の計画」

Q 新規就農者育成支援事業費補助金については、どのような事業を推進するのか。

A 新規就農者育成支援事業は、全額県の補助を受け、株式会社ホロネットが所有する浅羽湊地区の市民農園25区画において、就農を目的とした人たちに農業技術を指導する事業である。様々な農作物を栽培することにより、新規就農者の育成と農業知識の向上に繋がっていききたい。



浅羽湊地区の市民農園

常任委員会レポート

総務文教委員会

Q 来年7月にテレビのアナログ放送が終了する。山かげなど電波の受信状況が悪い地域6地区へ補助金を交付しているが、それで対策は全て終了したのか。

A 市で把握している共同アンテナの施設は、6施設ですべてであるが、アパートや建物の影響による電波障害など個別の案件までは把握していない。

しかし、市内で地上デジタル放送が見られない地域があるかどうかは、東海総合通信局や地デジサポートセンターで把握に努めており、共同アンテナを立てるなどの対策も講じている。

Q 給食費滞納者から、現状どのような形で徴収しているのか。
また、滞納の理由は何か。

A こども手当の払い込み口座と給食費引き落とし口座を同じにさせていただけるよう通知を出している。また、催促通知、電話での催促、自宅訪問による納付のお願いを各学校で取り組んでいる。

滞納の理由としては、払う意思はあるが諸事情で払えない状況にある人がほとんどである。

Q 中央子育て支援センターの利用者の3年間の推移はどうなっているか。
また、課題は何か。

A 平成19年度は55,668人、平成20年度は56,665人、平成21年度は47,289人となっている。

21年度の利用者が少ないのは新型インフルエンザの影響である。

駐車場が少ないことが課題であったが、地権者の協力が得られたため、確保できる見込みがついた。



中央子育て支援センター

民生福祉委員会

Q 100歳以上の方の戸籍管理について、袋井市では、どう処理したのか。

A マスコミで報道される前から、該当者の確認作業を行っていた。その結果、100歳以上で住所登録がない方が68件、うち110歳以上の50件は、報道当日に法務局へ戸籍削除の申請を行い、現在、審査を待っているところである。

100歳から109歳までの残り18件は関係者へ聞き取り調査を行い、10月までを目途に法務局への申請準備を進めている。

Q 緊急通報システムのうち、コールセンター方式の機器を貸与しているが、利用状況はどうであったか。

A 年間を通じて、相談等で1,222件、また、毎月1回の定期連絡が2,213件あった。その中で、緊急性のあるものは12件あり、うち10件が救急車により救急搬送されたものである。

特に、静脈瘤破裂や、ぜんそく発作、狭心症など、命に関わるものもあった。

意見書(要旨)

米価の下落に歯止めをかけ、農家の経営安定を求める意見書

政府は、来年度以降の戸別所得補償政策に先立つ「米戸別所得補償モデル事業」「水田利活用自給力向上事業」を4月からスタートさせたところである。所得補償が実施されることにより、「価格破壊」や「買いたたき」が行われるとの懸念が広がっており、価格を守る政策が基本に据えられることが求められている。

2009年度産米を中心とした米流通は深刻な停滞を来しており、このまま新米の収穫期に入ると大変な事態となることが予想される。

よって、政府は、米価の下落に歯止めをかけ、価格と需給を安定させるため、米の価格保証と所得補償を、再生産を保障する水準に充実させ、政府が米の需給と価格に責任を持つなどの対策を、緊急にとられるよう強く要望する。

以上、内閣総理大臣、各担当大臣あてに提出しました。

12月市議会定例会のお知らせ

12月定例会の予定は次のとおりです。

【場 所】市役所5階議場または各委員会室

【時 間】午前9時から

【日 程】<12月定例会>

12月 1日(水)開会、議案の説明

8日(水)市政に対する一般質問

9日(木)市政に対する一般質問

10日(金)市政に対する一般質問

14日(火)議案の審査(常任委員会)

24日(金)委員長報告～採決、閉会

あなたも議会を傍聴してみませんか。

当日、市役所5階の議会事務局で受付をします。

足の不自由な方、妊婦の方なども段差解消機を利用し傍聴席へ入れます。

赤外線補聴システム、段差解消機をご利用の際には、議会事務局へ声をおかけください。



段差解消機



赤外線補聴器

市議会への請願、陳情について

市政についての様々な要望や意見は、「請願」「陳情」として、文書で市議会に提出することができます。請願には、1人以上の議員の紹介が必要です。

定例会開会日の8日前までに提出していただければ、請願は、定例会で議題とし、陳情は、議会運営委員会でその取り扱いを協議します。なお、軽易な案件(郵送による陳情など)については議長判断で処理することとなっております。

請願(陳情)書には、請願(陳情)者の住所、氏名(法人及び団体は、その事業所の所在地、名称及び代表者の氏名)を記載し、押印してください。

詳細については、袋井市議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

9月定例会は120名の皆様に傍聴していただきました。最近では本会議をインターネット中継やCATVでご覧になる皆様も多く、また、市議会HPへのアクセス件数も昨年度は9,782件もありました。

市議会だよりも、今後さらに内容を充実させ、読みやすく親しまれる紙面作りに努めてまいります。

NO.28

市議会だより

〒437-8666 袋井市新屋1丁目1番地の1
TEL(0538)44-3143(直通) FAX(0538)44-3148
ホームページ <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp
発行/静岡県袋井市議会
発行日/平成22年10月15日